

# 2025年国際博覧会検討会の 会場計画等の検証の方向性

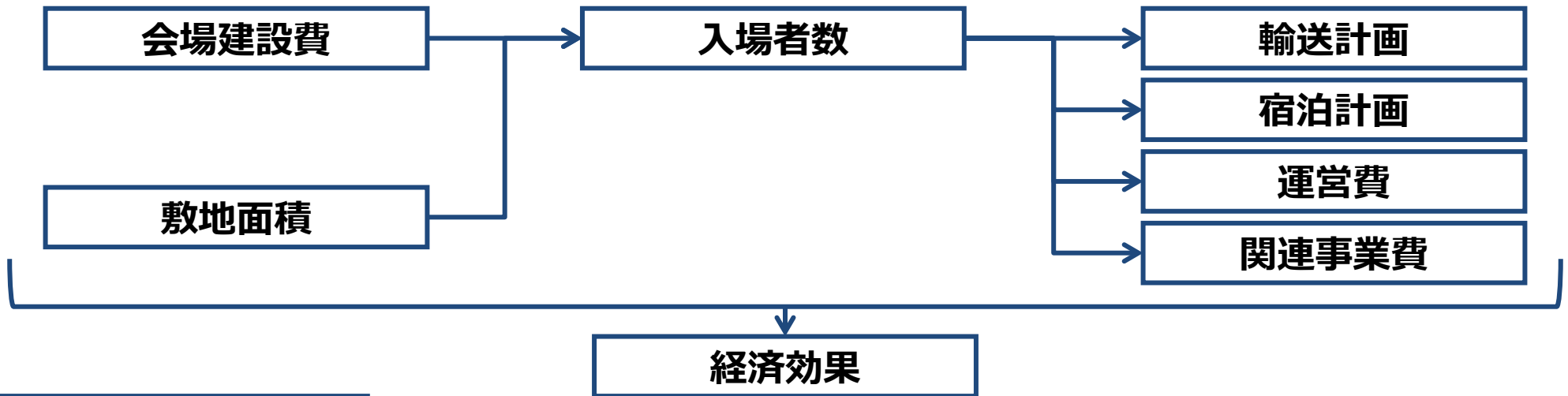
経済産業省

平成28年12月

# 2025年国際博覧会の会場計画等の検証の方向性

- 低コスト・最大効果の万博を目指す。
- 過去博、類似事業や専門家の意見等を参照のうえ、会場建設費（約1,300億円）・敷地面積（約100ha）の範囲内で万博を実施した場合の、想定経済効果・開催経費等を算出。
- 算出された経済効果・開催経費等を改善する工夫についても検証。

※算出された入場者数と需要予測の差を踏まえて改善の工夫を検討。



## 改善の工夫（例）

- ・会場：会場内における来場者の分散
- ・敷地：会場外の関連施設及びイベントとの連携
- ・入場者：VR等の新しいメディアを通じたコンテンツの幅広い提供
- ・運営：入れ替え制等の各種チケットの導入
- ・輸送：バス等の自動走行（新技術）の活用
- ・宿泊：民泊の活用（1970年万博の経験を参考にする。）

## 検討会の進め方

- 第1回：検証の方向性について報告
- 第2回：課題及びその解決策の提示
- 第3回：検証結果の報告及び今後の検討課題の提示

# (参考) 我が国で過去開催した国際博覧会との比較

		<u>1970年 大阪万博</u>	<u>2005年 愛・地球博</u>	<u>2025年 大阪（府基本構想）</u>
<b>会場</b>		吹田：330ha	173ha (長久手：158ha、瀬戸：15ha)	夢洲：約100ha
<b>開催期間</b>		3/15～9/13 (183日間)	3/25～9/25 (185日間)	5～10月
<b>計 画 事 業 費</b> ※	<b>会場整備</b>	524億円 [508億円]	1,350億円 [1,453億円]	1,200～1,300億円
	<b>運営</b>	354億円 [347億円]	550億円 [632億円]	690～740億円
<b>想定入場者数※</b>		3,000万人 [6,400万人]	1,500万人 [2,200万人]	3,000万人
<b>想定宿泊者数</b>		平均97,000人/日	検討せず。 (終了後推計値： ピーク時84,000人/日)	ピーク時98,000人/日
<b>備考</b>		収支：194億円の黒字	収支：129億円の黒字 別途、協賛事業や特別会計など 475億円を投入	

※：下段 [] 内は実績